

町民の声を行政に

町民の声を広く行政に反映させることを目的とした令和4年度全町自治会長会議を10月17日に町民センターにおいて開催しました。
会議には、各自治会代表など17名、町からは町長、副町長、教育長、各課長などが出席して、意見交換などを実施しましたので、その概要をお知らせします。
なお、各自治会の要望事項および町からの回答につきましても、各自治会宛に文書で回答しています。



町政執行に対する基本的姿勢(要旨)

町長 自治会長の皆さんには、平素から町政の円滑な推進に格別のご理解ご協力を賜っており、厚くお礼を申し上げますとともに、それぞれの自治会において日頃から各種事業に熱心に取り組んでおられますことに対しまして、心から敬意を表します。
また、新型コロナウイルス感染症の対応にあたられている医療・介護・教育関係の皆さまをはじめ、自治会や地域の皆さまにおかれましては、感染症拡大防止にご尽力いただいております。

意見交換

町政全般に関する意見交換等が実施されました。

主な意見交換の要旨は次のとおりです。

町北浜町自治会長
北浜町で数年前から修復されていない歩道があります。修復予定はありませんか。
数年前の大雨で道路の側溝から水が溢れ、土嚢を置いて対応していましたが、現在はどのような状況ですか。

圏建設課長

歩道については、現場を確認して対応します。

当時、排水の系統を確認しましたが、対応が難いため、土嚢を配置しました。再度確認をして、改修など可能か判断します。

町新日の出町自治会長

花壇の幅が広く、雑草の量が多いため、除草作業に時間が掛かっています。花壇を縮小することはできないでしょうか。



ことを、この場を借りて心から感謝申し上げます。

早いもので町長就任後、3年が経過しました。就任時に掲げました「郷土愛を育み未来に夢と希望の持てるまちづくり」というスローガンの実現に向け、全力を挙げて取り組んでいるところでありますが、新型コロナウイルス感染症により、思うような成果がなかなか挙げられず、歯がゆい思いをしているところでもあります。ただ、コロナ禍にあってもできることを着実に実行しているところでありますので、主な事業の進捗状況などについて説明いたします。

圏建設課長

花壇の縮小については、他自治会の現状も確認し、きらめき我が町事業実行委員会の意見を踏まえて検討します。

町末広町一区自治会長

全町的にグレーチング内に砂利などが堆積している場所があるかと思いますので清掃対応をお願いします。

圏建設課長

全町を調査し、必要な箇所については来年度清掃を実施します。

町共栄自治会長

ホテル日の出岬日帰り入浴客の町内と町外の利用割合を教えてください。
ホテル日の出岬の1か月入浴券などがあると思いますが、80歳以上の町民でないで購入できないため、年齢を引上げてはどうでしょうか。
電線、電話線に掛かっている樹木を所有者の合意があれば、北電などに対応していただけるような事を聞きましたので、町で調べていただき、自治会に周知してもらいたいです。

コロナウイルスに感染し、町内で亡くなった人がいると聞きましたし、救急車で搬送できなかったということも聞いていますので、対策をしっかりと行っていたきたいと思います。

まず、本町における一般廃棄物、いわゆるごみ処理についてであります。昨年のこの会議の際に申し上げたとおり、最終処分場の延命化を目的として、本年4月から廃棄物の一部を西紋別地区環境衛生組合の施設で広域処理を開始しております。

町といたしましても本年度、旧焼却処理場の敷地内に「資源ごみ分別保管倉庫」を整備し、間もなく完成するところであり、本施設でのリサイクル作業の強化を図ってまいります。

次に、本年度、実施しております「雄武斎場火葬炉入替工事」であります。これにつきましては、現在、順調に作業が進んでおります。工事期間中は、雄武斎場を使用できないということ、ご遺族をはじめ自治会、葬儀関係者の皆さんにはご不便をお掛けしておりますが、興部町の協力もあり、滞りなく火葬業務を執り行うことができております。

災害時における自主防災組織の役割につきましても、皆さん、重々ご承知のことと存じます。ここ数年は、線状降水帯発生に伴う豪雨災害が全国各地で発生している印象があり、また、電気なしでは暮らしが困難な時代となり、「冬場にブラックアウトが発生した場合」という災害想定もしておく必要があるものと感じております。

町といたしましても避難所の開設をはじめ、迅速な対応に努めることとしておりますが、「自助」「共助」の対策によって備えることも非常に効果的で

老健ハマナス、雄愛園については、職員の不足などにより運営に苦慮していると思えます。施設利用料を上げることもできないと思えますので、雄愛園への助成金などを考えてもらい、入所しやすい環境を整えていただきたい。人口が減少しているので、議員の定数を2名減員し、一人当たりの報酬額を増額してはどうでしょうか。

圏税財管理課長

町内と町外の利用客の割合は、町内4、町外6となっております。

年齢の引下げについては、ホテルの経営、収入に直結しますので、ホテルの支配人と協議します。

圏建設課長

土地所有者、北電などの合意の関係につきましても、不明でありますので後日確認します。
また、樹木の伐採などが早急に必要な場所がある場合には確認のうえ、北電、NTTへ連絡し、町で対応できる場合は、町で対応します。

町国保病院、介護老人保健施設事務長

コロナウイルス感染者の患者については、個人情報に係る部分もありませんので、当日はご家族が連れてきましたので、救急搬送ではありませんでしたが、最終的には亡くなられた

あります。自治会役員会などの機会を捉えて、是非、自主防災組織の設置に向けた話し合いを進めていただきたいと思っております。

なお、本年度から、自主防災組織の設置や活動に関する補助制度を創設し、数件の自治会から設置の報告を受けておりまして、今後、より多くの自治会で組織が立ち上がり、活動の一助にしたいだければ幸いです。

そして、ご心配をおかけしております。内科常勤医師の退職後、現在は非常勤医師を確保しながら診療体制を維持している状況であります。後任の常勤医師確保に向けては、道外在住医師で北海道内の医療機関へ転職を考えている医師の相談窓口となっております。病院の現状説明と医師から問い合わせがあった場合の紹介依頼、医師確保に向けた情報交換の実施など、一日も早く常勤医師が見つかるよう取り組みを進めているところであります。

終わりになりますが、公約に掲げたまちづくりの実現にあたり、町長としてリーダーシップを発揮するとともに、職員の多様な発想も活かしながら、既成概念にとらわれない変革を求め、大局的な見地からの確に将来を見据えた町政運営に取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

という状況です。

老健ハマナス、雄愛園につきましては、介護職員、看護職員が常に不足している現状にあります。

自由に入所できるような、環境づくりをお願いしたいとのことですが、2025年に団塊の世代が75歳に達し、以降高齢者が少なくなるという将来的なことも見据えた対応が必要だと考えております。

圏消防支署長

救急搬送については、アイスレター設備を整えておりますので、コロナウイルス感染者を救急搬送できなかったという事例はありません。

町福祉給付課長

看護職員の不足については、民間の人材派遣会社を活用しながら対応している状況ですが、学校訪問などを行い、看護職員を確保したいと考えております。助成金については、厳しい経営が続いているとのこと、本年9月に支援金として予算措置を行います。今後につきましても、経営の状況に応じて、指定管理者である社会福祉協議会と協議しながら対応したいと考えております。

町議会事務局局長

議会事務局からは、ご回答することはできませんので、議会に報告させていただきます。